

中部国際空港施設および CIQ 見学会レポート

JATA 中部支部

事務局長 星野 道佳

JATA中部支部では、昨年に引き続き中部国際空港の施設および、普段入れない入国時 CIQ 導線や審査方法、所要時間などを会員様に体感していただくために、中部国際空港株式会社様の全面的なご協力のもと、下記内容で、視察会を実施しました。

日 時 :2025 年 6 月 24 日(火) 13:00~15:30

参加者:JATA 会員会社15社18名、中部事務局2名 合計20名

日本旅行、エムオーツーリスト、HIS、JTB、農協観光、パートナーズ、ウイングハートトラベル、エヌオーイー、エヌティアドバイザーズ、郵船トラベル、ジョットツーリスト、ワールド航空サービス、中部キャラバン、阪急交通社、ユナイテッドツアーズ（敬称略・申込順）

協 力 :中部国際空港(株)・名古屋検疫所中部国際空港検疫所支所、名古屋税関中部空港税関支署・出入国在留管理庁名古屋出入国在留管理局

【スケジュール】

12:50 アクセスプラザ 1F 総合案内所前 集合

13:00~14:00 1階団体集合場所、バス到着場所 ➡ 2階国内線、国際線到着ロビー ➡ 3階国際線、国内線チェックインカウンター ➡ 特別待合室 A-1（荷物預け） ➡ 制限エリア(入国)へ

14:00~15:00 制限エリア(入国):検疫（係員説明） ➡ 入国管理(顔認証ゲート説明) ➡ 税関(電子申告など係員説明)

15:00~15:15 A-1 特別待合室(荷物受取) ➡4階スカイタウンにて説明後解散



集合時星野事務局長より挨拶



今枝様の説明



参加者集合写真

◆コメント

中部国際空港施設見学では、航空営業部今枝様に案内いただきました。2025 年 3 月より国際線における自動チェックイン機増設及び自動手荷物預け機導入、操作方法の説明を受け、お客様の待ち時間が大幅に短縮されたと聞き、検疫では、帰国時の申告、感染症の侵入を防ぐために旅行会社としてお客様への案内等の重要性を再認識しました。入国審査では、顔認証、自動化ゲートの説明、税関では、電子申告ゲートをVisit Japan Webにログインした二次元コードとパスポートでの通過を見学し、税関として推奨していると説明頂きました。昨年見学時以上に各部門デジタル化が進み、空港での待ち時間短縮が進んでいると実感しました。参加者からは活発に質問頂き有意義な研修となりました。これからも、フライセントレアを意識し、復便を増やし、アウトバウンド復活のため様々な研修の機会を作っていききたいと思います。